

### くにさき六郷温泉

くにさき六郷温泉は、豊後高田市全域に点在する 6 カ所の温泉からなります。くにさき六郷温泉は、塩化物泉、炭酸水素塩泉、硫酸塩泉という 3 種類の塩類泉を誇ります。これらの塩類泉は症状をやわらげ、病を癒やすと考えられています。塩化物泉は熱を保持し、血行を良くすると考えられています。「美人の湯」としても知られる炭酸水素塩泉は、皮膚の外層を柔らかくして、絹のようななめらかな感触を生み出してくれるとされています。最後に、硫酸塩泉は、傷を癒やし、血行を良くし、また、抑うつを癒やしたり乾燥肌から守ってくれると考えられています。

くにさき六郷を構成する 6 カ所の温泉、すなわち、花いろ温泉、夷谷温泉、スパランド真玉、海門温泉、仙人湯、露臺は、それぞれが異なる健康上の恩恵をもたらしてくれるとされており、雰囲気もそれぞれ異なります。

- 花いろ温泉には炭酸冷鉱泉風呂（24℃）の露天風呂があり、肌を柔らかくしてくれると考えられています。花いろ温泉には、硬度 1500mg/L 以上の水を飲める飲泉もあります。
- 緑豊かな森に取り囲まれた夷谷温泉の露天風呂は、自然の中で入浴しているという感覚を与えてくれます。この硫酸塩泉のお湯の色は褐色で、大分県では珍しいものです。
- スパランド真玉は山翠荘内にありますが、宿泊客でなくても利用できます。泉質の柔らかな炭酸水素塩泉のお湯が体を温め、肌の感触を滑らかにしてくれます。
- 近くの仙人湯では、25℃以上を維持する pH8.5 以上の水がひっきりなしに源泉から流れ出ています。この温泉は神経痛や関節痛に効くと考えられています。
- 海門温泉は真玉海水浴場の近くにある小さな塩化物泉で、塩類濃度が高く、お湯の色は褐色です。
- 最後に、露臺は国宝に指定されている富貴寺に隣接した炭酸水素塩泉です。この温泉は和風旅館内にあり、宿泊客だけが利用できます。